



令和6年度 みやの環境創造提案・実践事業 活動内容

みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 令和6年度は、応募のあった4団体に対して活動支援を行いました。
“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

⇒ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

《自由提案》

公共交通機関を活用したカーボンニュートラル実現のための 啓発活動

栃木県立宇都宮工業高等学校 科学技術研究部

【活動の目的】

工業高校生がものづくりを通して環境活動にどう
取り組めるかを考え、啓発活動を実践する

主な活動内容

- 1 製作したミニLRTを環境イベント等で体験乗車会を行う
- 2 昨年開業したLRTの周知啓発を行う
- 3 パネルを用いて公共交通機関の利用を促す啓発活動

◆活動の成果や感想◆

- ・ 市内外の多くのイベントに参加し「環境未来都市うつのみや」をPRできた
- ・ 公共交通機関利用による温室効果ガス低減への理解を深めてもらった
- ・ 体験乗車会では県内外問わず1万2千人を超える方々に乗車してもらえた



製作したミニ鉄道車両



開業1周年記念イベント



日光自然博物館イベント



様々なイベントへ参加

《自由提案》

ライトレール菓子作りでイメージアップ事業

栃木県立宇都宮白楊高等学校 商業部

【活動の目的】

- ライトレール沿線に複数の観光スポットをつくる。
- ライトレール関連商品の開発・販売

主な活動内容

- 1 ライトレールで白楊高校の観光化を目指します。
- 2 宇都宮市のお土産品となるような商品開発を行いました。
- 3 ライトレールの形をした菓子を開発販売しました。



完成した「ライトラインすいーとぽてと」



文化庁国指定登録有形文化財
白楊高校の観光化



収穫したカボチャの加工
特色を活かした商品開発

◆活動の成果や感想◆

- ・ 白楊高校の正門と旧講堂は歴史的建造物で、文化庁国指定登録有形文化財です。

ここに案内板を立てて、観光地化することになりました。

- ・ 学校前の銀杏並木も撮影スポットとして観光化します。

令和6年10月から銀杏の紅葉の進捗を白楊高校HPで発信しました。

- ・ 「ライトラインすいーとぽてと」の開発販売をしました。

販売数量 4,500箱 単純に4,500袋のレジ袋の削減しました。(R6年10月26日～R7年1月31日まで)



キャリー式箱を採用
プラスチックごみ削減

《選択提案：地域特性を踏まえた生物多様性保全の充実について》

地域共働による鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

栃木県立宇都宮白楊高等学校 生物工学部

【活動の目的】

鬼怒川河川敷において、絶滅危惧種を保全する

主な活動内容

- 1 組織培養による大量増殖を行う
- 2 うじいえ自然に親しむ会などの外部団体との保全区での除草活動
- 3 小学生向けの出前授業

◆活動の成果や感想◆

- ・ 保全活動では外部団体の皆様と関わることで、交流の輪が広がり、外来植物や環境保全の意義について知ることができた。
- ・ 私たちが普段学んでいるバイオテクノロジー技術の活用について知ることができた。また植物の生態や増殖について地検を広げることができた。
- ・ 小学生向けの出前授業や宇都宮大学コラボレーションフェアに参加して発表することで、保全区での活動を広めることができた。



協力団体との除草活動



実験の様子



小学生向けの出前授業



宇都宮大学コラボレーションフェアでのポスター発表

《選択提案:地域特性を踏まえた生物多様性保全の充実について》

宇都宮市上田地区における住民参加型生物多様性調査と 遺伝子レベルでの生物多様性解明

宇都宮大学 農学部 応用生命化学科 生物有機化学研究室

【活動の目的】

- こどもたちと調査を行い、自分が住む地域の生物多様性を理解する。
- 採取した試料を用いて目に見えない遺伝子レベルでの生物多様性を解明する。

主な活動内容

- 2024年7月28日（日）宇都宮市北部上田地区において、田んぼ周りおよび河川の住民参加型生物多様性調査を行い、上田公民館において採集された生き物についてこどもたちとディスカッションを行った。
- 採集されたサクラマス（ヤマメ）ミトコンドリア DNAの*Cytb*遺伝子等をターゲットとしてPCR増幅し、塩基配列を決定し、分子系統解析を行った。

◆活動の成果や感想◆

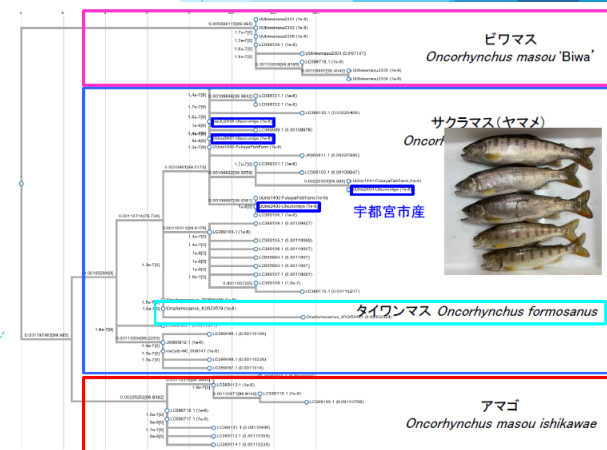
- 地域のこどもたちが大学生、大学院生とともに住んでいる地域の自然に親しみ、生物多様性調査を行うことは、地元の自然の大切さを再認識し、この先も現在の生物多様性を守っていこうという心を育むことにつながる。
- 地域のイベントとして定着しているので毎年来て欲しい（地域の方より）。
- サクラマス4個体の*Cytb*遺伝子全長（1141bp）の塩基配列をDDBJ/EMBL/NCBIデータベースに塩基配列を登録した（アクセション番号LC861331-LC861334）。



こどもたちに
熱弁をふるう大学院生



採集された生き物たち



サクラマスグループの
*Cytb*遺伝子による分子系統樹



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境創造課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2409

FAX 028-632-3316